

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

NO.	123	地方公共 団体名	鹿児島県	消防団名	鹿児島市消防団
担当課	危機管理防災局 消防保安課		連絡先	Tel 099 - 286 - 2259 E-mail shoubou@pref.kagoshima.lg.jp	
事業名	鹿児島県消防団 PR 推進事業				
事業詳細	<p>○ 業の目的・必要性</p> <p>【目的】</p> <ol style="list-style-type: none">県内各地の消防団の存続を図るため、若者や女性等の入団を促進する。個人のライフスタイルの多様化に適應するため、様々な広報手段を活用することにより、若者や女性等における消防団への興味を喚起する。 <p>【必要性】</p> <ol style="list-style-type: none">地域防災力の中核を担う消防団は、災害が多様化・激甚化する中、ますますその重要性が高まっている。一方で、消防団を取り巻く環境が変化し、団員数は減少傾向である。 平成28年:15,475人 → 令和3年:14,938人県内各地の消防団の存続を図るため、県内全域で加入促進に係る広報を行う必要がある。 <p>○ 事業内容</p> <p>個人のライフスタイルの多様化に適應するため、様々な媒体を活用した広報を実施した。広報素材として、男女2名の若手消防団員にスポットを当てたPR動画「IZA！消防団」（令和2年度作成）を主に活用し、経費を抑えつつ、消防団員のリアルな声を伝えた。</p> <ol style="list-style-type: none">テレビCM 主婦層をターゲットに民放2局でPR動画「IZA！消防団」放映を実施した。インターネット広告<ul style="list-style-type: none">SNS広告 Twitter や YouTube で、若者（10～40代）を対象に広告を表示させることで、的確に周知を行うとともに、ユーザーによる拡散効果による周知を図った。ヤフーブランドパネル広告 幅広い年齢の方を対象にヤフーブランドパネル広告（スマートフォン版）を実施した。				

(3) 大型ビジョン広告

通勤や通学で多く利用されている鹿児島中央駅等の大型ビジョンでPR動画「IZA！消防団」を放映し、若者や女性等への周知を図った。

(4) 大学生向けウェブメディアでの記事掲載

大学生向けウェブメディア「KADAIINFO」において、学生消防団のインタビュー記事等を掲載し、若者への周知を図った。



大型ビジョン放映の様子



Twitter 広告画像

○ 目標達成状況

指標	単位	当初目標値	実績値	備考
テレビCM	回数	2ヶ月で 40 回	2ヶ月で 36 回	主婦層や子育て世代の視聴率、若年層の視聴率が高いテレビ局に集中して放映した。
SNS広告	種類	3種類	2種類	SNS広告2種に加え、幅広い年齢層が利用するヤフーブランドパネル広告を実施した。
ビジョン	回数	3ヶ月1日 32 本 (2,880 本)	2ヶ月 3,000 本以上	人通りの多い街中6箇所のビジョンで集中的に放映した。

○事業成果

新型コロナウイルス感染症の影響により大型イベントの開催が難しい状況の中、テレビCM、SNS 広告、大型ビジョン広告など、様々な媒体を活用して情報発信することで、特に若者や女性に対して消防団の役割や活動内容に関する広報を強化することができた。

その他参考
情報

※URL の記載などをお願いします。

大学生向けウェブメディア「KADAIINFO」掲載記事

- <https://kadai-info.com/2023/01/31/kadai-interview-syobodan/>
- <https://kadai-info.com/2023/01/26/kagoshima-volunteer/>